

今週のビルマのニュース
2009年6月12日【0923号】

今週の主なニュース：スーチー氏裁判また延期

・インsein刑務所の特別法廷で先月から開かれている民主化指導者アウンサンスーチー氏の裁判で、スーチー氏側が呼びたいとした証人3人を特別法廷が却下したが、ラングーン高裁が9日、このうち1人について却下を覆す判断をした。スーチー氏側は残り2人についても却下の取り消しを求め、11日に高裁の判断を最高裁に上告した。こうした証人をめぐる異議申立て手続きが完了しないため、特別法廷での審理もさらに延期されている（11日付APほか）。

【背景】軍政は5月、突然訪れた米国人男性を家に入れたことが来客を禁じる自宅軟禁の規則に違反したとして、スーチー氏を起訴した。起訴の背景には、来年予定の総選挙を前に国民の支持を集める氏の拘束期間を延長したいという軍政の政治的動機があり、有罪判決（最長禁固5年）が出るとの見方が大勢。

・「ミャンマーの民主化を支援する議員連盟」（大島理森会長）は10日に会合を持ち、外務省や日本ビルマ事務所などから情勢報告を受けた。また、スーチー氏の「不屈の闘いに敬意を表し、平和と民主化への行動に賞賛と栄誉を称える」声明を発表した。

その他：ビルマ東部で大規模攻撃、4000人が逃げる

・ビルマ東部カレン州で5月末から6月初めにかけてビルマ軍がカレン民族住民への武力攻撃を行い、これまでに4000人以上が家を追われタイに逃げこんだ。ビルマ軍が発射した砲弾がタイ側に着地したとの情報もある（11日付BBCニュース、DVBほか）。ビルマ東部ではこの15年間で3300の村が破壊されている。

・国際労働機関（ILO）は6日、ビルマの2008年憲法が強制労働を容認する恐れがあることを指摘し、憲法の内容を改定するよう軍政を促した。

・ミャンマー議連は10日、ビルマ政治囚支援協会などと合同で、議員会館内で政治囚の写真展を開催した。記者会見では政治囚の釈放を求める署名1万4,890筆を在日ビルマ人が議連に渡した。議連の末松義規事務局長が後日、署名を外務省に提出する。

・スーチー氏の64歳の誕生日に合わせて支援メッセージを寄せる「64キャンペーン」が行われている。日本からはロック歌手のサンプラザ中野くんや作家のいとうせいこう氏のほか、多数の国会議員からも映像や文章のメッセージが発信されている。

ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など
新たな発表はなし。

イベントなど

・アウンサンスーチー氏起訴へ抗議 ビルマ軍政に対してスーチー氏と全ての政治囚の釈放を求める抗議行動 在日ビルマ人のみなさん（在日ビルマ大使館前、8～12日15時～16時）

・第57回ビルマ市民フォーラム例会「アウンサンスーチー不当起訴のゆくえと背景（仮題）」根本敬、秋元由紀（池袋・ECOとしま8階、13日18時～）

・アウンサンスーチー氏64歳の誕生日祝福会 主催：国民民主連盟（解放地域）日本支部（南大塚ホール、14日18時～）

・英国風パブでのチャリティコンサート Rock for Human Rights in Myanmar! Amnesty International Tokyo English Network, Asia Pacific Youth Network（恵比寿What the Dickens、14日19時半開演）

・写真展・講演会「難民たちの未来 ビルマ」主催：ビルマ民主化支援会、共催：アムネスティ・インターナショナル日本（名古屋国際センター4階第一展示室 13日9時～21時、14日9時～19時／在日ビルマ政治難民コロラットさんの講演会は同会場3階第二研修室にて、14日10時半より）

・アウンサンスーチー氏64歳の誕生日記念集会 在日ビルマ人共同行動実行委員会ほか（国連大学前、19日17時～）

・アウンサンスーチー氏 64回目の誕生日祝賀会 在日ビルマロヒンギャ協会主催（群馬県館林市、19日14時～）

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀 yuki@burmainfo.org 080-2006-0165
--